

ハードディスク購入時の留意事項

PRIMERGY では、SATA/BC-SATA/SAS のハードディスクをサポートします。
「ハードディスクの選定基準」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/harddisk/>)をご確認の上、お客様の用途に合わせたハードディスクをご選定ください。

FDDユニット(USB)/USBメモリの購入について

FDD ユニット(USB)、USB メモリを必要とする作業または USB メモリのサポート対象機種については、「フロッピー利用作業とモデル別一覧」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/pdf/note/floppy-guide.pdf/>)をご確認の上、富士通コワーコより推奨品を販売しておりますので、必要に応じてご購入をお願いします。

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/supply/media/usb/>

なお、「ハードウェア暗号化機能」を搭載した USB メモリでは行うことができない作業があります。
詳細はハンドブック内システム構築上の留意事項「FDD ユニットもしくは USB メモリを必要とする作業」をご覧ください。

VMware vSphere 4 使用時の注意事項

VMware vSphere 4 使用時には、BIOS 時計設定を UTC に変更してご使用ください。また、システムボード交換時には BIOS 時計設定は JST になります。交換後、再度 UTC へ変更願います。

TX100 S1およびTX200 S5(SATAモデル)におけるWindows Server 2008 Standard インストールタイプ HDDカスタムメイド手配時の注意事項

カスタムメイドにて HDD を増設する際は、SAS アレイコントローラカードの同時手配が必要となります。
※ソフトウェア RAID で RAID を構成する場合は、HDD を一般型名にて手配し現地にて増設、RAID 設定および OS の再インストールをする必要があります。
※単体接続で使用する場合は、内蔵ハードディスクを一般型名にて手配し現地にて増設する必要があります。

TX200 S5 運用時の留意事項

- (1) Wakeup On LAN を使用する場合の注意
Windows 環境で、Management LAN を Shared 設定で使用している場合、Wakeup On LAN が機能しませんので、ご注意願います。
- (2) netdump について
RHEL(v.4)/RHEL(v.4-EM)とオンボード LAN の組み合わせにおいて、netdump は使用できませんので、ご注意願います。

TX120 S2 運用時の留意事項

(1) 本サーバを横置きで使用する場合の留意事項

本サーバを横置きで使用する場合には、本サーバを2台以上重ねて設置する、もしくは本サーバ上にディスプレイ等の機器を設置することはできませんので、ご注意願います。

(2) 国際エネルギースタープログラム対応モデルの留意事項

当モデルは出荷時、省電力モードに BIOS が設定されているため、電源切断時に以下の制限事項があります。

- ・リモートからの電源制御(リモートマネジメントコントローラ Server View Operations Manager 経由の電源制御)が行えません。
- ・問い合わせ機能(リモートマネジメントコントローラの設定変更など)が行えません。
- ・状態表示ランプの点灯、消灯が行えません。
- ・センサ監視が行えません。
- ・リモートマネジメントコントローラ(Server View Operations Manager)によるスケジュール運転が行えません。
- ・電源投入時に、ファンが約 10 秒程度高速回転になるため、起動時のファンの動作音が大きく(53dB)なります。

RX200 S3/RX300 S3/TX200 S3/TX150 S5/RX100 S4/TX120/TX150W S5/TX120W (iRMC搭載装置)運用時の留意事項

(1) リモートマネジメントコントローラ(iRMC)の設定について

iRMC 機能をご利用のお客様は、以下の点にご注意願います。

iRMC の設定はお客様作業となります。装置の修理においてベースボード交換が生じた場合、以下の情報をお客様にて再設定をお願いいたします。また、その他の設定情報に関しても正しいか確認をお願いいたします。

- ・リモートマネジメントコントローラアップグレード(PG-RMCU1)「ライセンスキー」登録内容(ご購入の場合のみ)
- ・「User Management」の設定

iRMC 機能を利用するため、Webインターフェース画面開設時のアカウント登録内容です。

工場出荷設定では、

※ID:2 ユーザ名:admin パスワード:admin のみが登録されています。

- ・「DNS Domain」の設定

TX200 S5/TX300 S5/RX200 S5/RX300 S5/TX150 S6/RX200 S4/RX300 S4/TX300 S4/RX100 S5/TX120 S2運用時の留意事項

(1) リモートマネジメントコントローラ(iRMC2)の設定について

iRMC2 機能をご利用のお客様は、以下の点にご注意願います。

iRMC2 の設定はお客様作業となります。装置の修理においてベースボード交換が生じた場合、以下の情報をお客様にて再設定をお願いいたします。また、その他の設定情報に関しても正しいか確認をお願いいたします。

- ・リモートマネジメントコントローラアップグレード(PG-RMCU2)「ライセンスキー」登録内容(ご購入の場合のみ)

RX200 S4/RX300 S4/TX300 S4 運用時の留意事項

(1)Windows Server 2003 または Windows Server 2003 x64 環境にてオンボード LAN コントローラをご使用する場合の注意事項について

Windows Server 2003 または Windows Server 2003 x64 環境にてオンボード LAN コントローラによる通信を実施した場合、ご使用のアプリケーションによっては LAN 通信が正常に動作しない場合があります(※)。

本現象を回避するため、ご使用前に下記手順に従い TCP Chimney Offload 機能を必ず無効に設定してください。

1. Windows Server 2003 または Windows Server 2003 x64 を起動する。
2. “スタートメニュー”→“すべてのプログラム”→“アクセサリ”を選択してコマンドプロンプトを起動する。
3. コマンドプロンプトが表示されたら、以下のコマンドを入力して【Enter】キーを押す。

```
C:¥> Netsh int ip set chimney DISABLED
```

4. 設定が変更されたら“OK”と表示されます。(設定変更後に再起動する必要はありません)

※LAN 通信が正常に動作しない場合の例

1) FTP によるデータ伝送処理を実行した場合。

1-1 『426 Connection Closed; transfer aborted.』が表示される。

1-2 FTP 接続が切断され、FTP によるデータ転送処理が行えなくなる。

2) Microsoft SQL Server を使用した場合、下記のメッセージのいずれかが表示される。

2-1 [Microsoft] [ODBC SQL Server Driver] [DBNETLIB] 全般 Network エラー。ネットワークのマニュアルを参照してください。

2-2 [Microsoft[SQL ネイティブ クライアント]]通信リンク障害エラー[08S01]。

2-3 System.Data.SqlClient.SqlException: サーバーに要求を送信するとき、トランスポート レベルのエラーが発生しました。

ECONEL 100 S2 購入時の留意事項

(1)以下の内容をご確認の上、購入をお願い致します。

故障イベントの通知設定について

・故障イベントをリアルタイムに通知するため、ServerView およびRAID 管理ツール(ServerView RAID) をインストール後、イベントの通知設定をServerView S2 を起動して実施してください。本サーバは、ハード異常が発生した際に 点灯する状態表示ランプや、ハードディスク故障ランプを搭載していませんので、ソフトウェアによる監視がより重要となります。

(2) Window Server 2008 Foundation使用時の留意について

Windows Server 2008 Foundation バンドル(PGBSUW15)適用時の搭載可否については、弊社 WEB ページ(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>)にてご確認ください。

RX300 S3運用時の留意事項

(1) リモートリセット時のログについて

リモートマネジメントコントローラを使用してリモートからのリセットを実行したときに PowerCycle のログが記録されますが問題ございません。記録されるログは下記の通りとなります。

ServerView:「Remote-initiated graceful power cycle at cabinet 0」

IPMVIEW:「Remote-initiated graceful power cycle-Asserted」

(2) VMware でのサーバ添付ソフトウェアについて

VMware Infrastructure 3 でのサーバ添付ソフトウェアの動作可否は下表の通りです。

動作可能なソフトウェアは VMware Infrastructure 3 添付媒体または、インターネット情報ページ (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>)より入手可能です。

ソフトウェア名称	ディスクレスタイプ		VMware Infrastructure 3 バンドルタイプ
	サーバ添付	VMware 添付媒体	VMware Infrastructure 3 バンドルタイプに添付のドキュメント&ツール CD
自動インストール	—	—	—
FMAviser	—	—	—
UpdateAdviser	—	—	—
DSNAP	—	—	—
PROBEPRO	—	—	—
ソフトウェアサポートガイド	—	—	—
DAD	—	—	—
PowerUp Gear	—	—	—
ServerView	×	○	○
REMCS	×	○	○
HRM/server	×	○	○
RAID 管理ツール	×	○	○
RAS 支援サービス	×	○	○
Tape Maintenance Adviser	—	—	—

○:動作可 ×:動作不可 —:対応予定なし

TX200 S3 運用時の留意事項

(1) VMware でのサーバ添付ソフトウェアについて

VMware Infrastructure 3 でのサーバ添付ソフトウェアの動作可否は下表の通りです。

動作可能なソフトウェアは VMware Infrastructure 3 添付媒体または、インターネット情報ページ (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) より入手可能です。

ソフトウェア名称	サーバ添付	VMware 添付媒体
自動インストール	—	—
FMAviser	—	—
UpdateAdvicer	—	—
DSNAP	—	—
PROBEPRO	—	—
ソフトウェアサポートガイド	—	—
DAD	—	—
PowerUp Gear	—	—
ServerView	×	○
REMCS	×	○
HRM/server	×	○
RAID 管理ツール	×	○
RAS 支援サービス	×	○
Tape Maintenance Adviser	—	—

○:動作可 ×:動作不可 —:対応予定なし

(2) システムイベントログ(SEL)に記録されるメッセージについて

ServerView もしくは、Server Management Tools よりシステムイベントログ(SEL)を表示した際、

下記のメッセージが記録されている場合がありますが本サーバの動作は問題ありません。

ServerView:「Controller access degraded or unavailable」

Server Management Tools:「ControllerAccessDegradedOrUnavailable-Asserted」

TX150 S5/TX150W S5 運用時の留意事項

(1) ServerStart エキスパートモードで Windows Server 2003 x64 OSをインストールする場合

ServerStart V6.609でエキスパートモードを使用して、Windows Server 2003 x64をインストールすることはできません。

既存のパーティションを残してWindows Server 2003 x64をインストールする場合は

「ユーザズガイド 4.3.1 Windows Server 2003 x64のインストール」を参照の上、手動でインストールを行ってください。

なお、一般的なOSインストール作業は、ガイドモードまたは事前設定モードをお使いください。

エキスパートモードにてインストールできないOS

- ・ Windows Server 2003, Standard x64 Edition
- ・ Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition

TX120/TX120W 運用時の注意事項

(1) 本サーバを横置きで使用する場合の注意事項

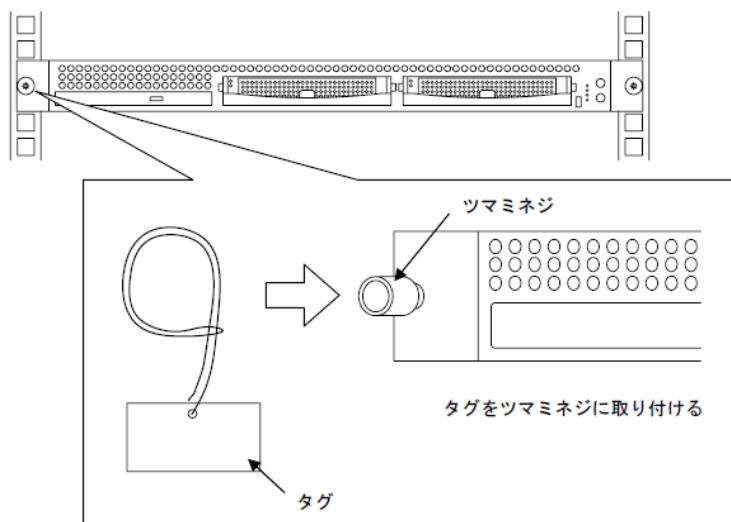
本サーバを横置きで使用する場合には、本サーバを2台以上重ねて設置する、もしくは本サーバ上にディスプレイ等の機器を設置することはできませんので、ご注意ください。

基本カードスロット変換機構 (PG-CSU104/ PG-CSU105)運用時の注意事項

(1) 保守時に担当 CE に対して、「基本カードスロット変換機構」を適用していることを通知してください。

(2) 基本カードスロット変換機構(PG-CSU104/PG-CSU105)を搭載する場合、タグラベルを装置前面に装着していただく必要があります。タグラベルの装着位置は以下の図を参照してください。

本留意は PGBCSU104/PGBCSU105 搭載時には発生しません。



グラフィックスカード (PG-VGA201/PG-VGA201L)運用時の留意事項

- (1) 本グラフィックスカードを使用するためには、搭載するサーバ本体の BIOS 版数が、以下に示す版数以降である必要があります。

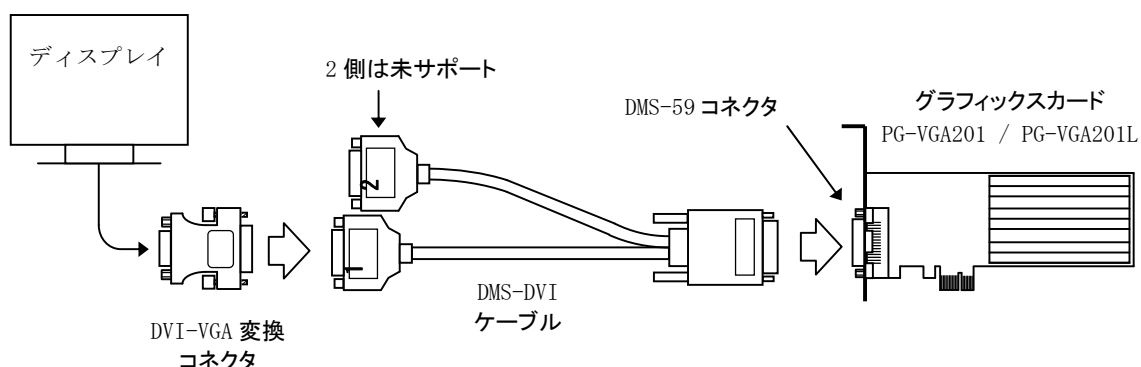
サーバ本体	BIOS 版数
PRIMERGY RX300 S3	1.06 以降
PRIMERGY RX200 S3	1.04 以降
PRIMERGY TX200 S3	1.06 以降
PRIMERGY TX150 S5, TX150W S5	1.05 以降
PRIMERGY RX100 S4	1.06 以降

これより以前の版数の場合は、Web サイト(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>)の「ダウンロード」より最新 BIOS を入手してください。その後、同梱の手順書を参照してアップデートしてください。

- (2) 本グラフィックスカードを PRIMERGY RX300 S3, RX200 S3, TX200 S3 に搭載する場合は、次の BIOS 設定変更が必要となります。

Advanced → Peripheral Configuration → Onboard Video : Enabled ⇒ Disabled に変更

- (3) デュアルディスプレイ機能(DMS-DVI ケーブルの2つ目の VGA コネクタ出力)は未サポートです。
- (4) DVI-VGA 変換コネクタを使わずに、ディスプレイを DVI で直接接続する構成は未サポートです。
- (5) 本製品をご使用時はリモートマネジメントコントローラアップグレード(PG-RMCU1)のグラフィカルコンソールリダイレクション機能(Advanced Video Redirection 機能)およびリモートストレージ機能は未サポートです。
- (6) 本製品では 1280x1024x32bit までをサポートしますが、表示可能な画面の解像度/色およびリフレッシュレートは、接続されるディスプレイ、KB/Mouse/CRT 切替器やインストールされている OS の種類によって変わります。
- (7) グラフィックスカードをディスプレイに接続するためには、グラフィックスカードに添付される DMS-DVI ケーブルと DVI-VGA 変換コネクタが必要です。
下図のように DMS-DVI ケーブルには 2 つ VGA コネクタがあり、2 側が未サポートとなります。
コネクタに「2」と記載されていますので、手配時にご確認下さい。また、本製品ではディスプレイを DVI で直接接続する構成は未サポートです。



VMware ESX Server 3.5 をご使用になる上での注意事項

(1) RX300 S4 でのご使用について

RX300 S4 で VMware ESX 3.5 をご使用になる場合には、以下の点にご注意ください。

- BIOS 版数
Version 4.06 Rev. 1.01 以上を適用してください。
- BIOS の設定変更
標準設定では DVD-ROM を使うことができません。以下のとおり BIOS の設定変更をしてください。
[Advanced]⇒[Peripheral Configuration]⇒[ATA Controller Config]
【P-ATA Maps To:】"Secondary" を "Disable" に変更。

(2) TX300 S4 でのご使用について

TX300 S4 で VMware ESX 3.5 をご使用になる場合には以下の点にご注意ください。

- BIOS 版数
Version 4.06 Rev. 1.01 以上を適用してください。

(3) RX600 S4 でのご使用について

RX600 S4 で VMware ESX 3.5 をご使用になる場合には以下の点にご注意ください。

- BIOS 版数
Rev. 1.12 以上を適用してください。
- iRMC 版数
3.23A 以上を適用してください。

(4) BX620 S3 でのご使用について

BX620 S3 で VMware ESX 3.5 をご使用になる場合には以下の点にご注意ください。

- BIOS 版数
3B39 以降を適用してください。
- BMC 版数
3B46 以降を適用してください。

(5) BX620 S4 でのご使用について

BX620 S4 で VMware ESX 3.5 をご使用になる場合には以下の点にご注意ください。

- BIOS 版数
3A83 以降を適用してください。
- BMC 版数
3A43 以降を適用してください。